

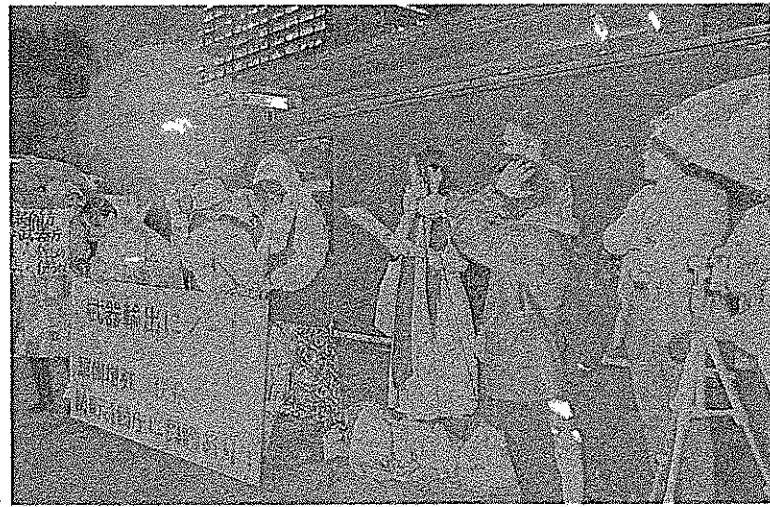
武器輸出反対アピール

市民団体「装備庁に異議あり」

「秘密保護法を考える市民の会」など4団体が呼びかけ、防衛装備庁が発足した1日、東京都新宿区の防衛省正門前で、「武器輸出にノー」「軍事費増大にノー」を訴え、朝と

夕方2回、抗議アピールをしました。防衛省外局としての防衛装備庁発足は、武器の開発や調達、輸出を一元的に管理し、憲法の平和原則に反し、武器輸出や武器の国際

共同開発を推進する体制づくりとなるもの。「防衛装備庁に異議あり」「武器輸出に反対」の横断幕を掲げ訴えました。この間、戦争法に反対してきた市民らに参加し、「死



防衛装備庁発足で「武器輸出にノー」「軍備増強に税金使うな」異議ありと訴え、抗議アピールする参加者1日、防衛省正門前

の商人は日本にいらない」「安倍政権は武器を売るな」とコールを響かせました。

「秘密保護法を考える市民の会」の満田夏花さんは「武器輸出推進は反対です。防衛省に申し入れていく」と発言しました。国際協力NGO「日本国際ポランティアセンター」の並木麻衣さんは「パレスチナの支援活動にかかわってきました。武器を持ち込ませず、起ころうとする戦争をとめることを大切に」と訴えました。